

レポートサマリー

# 2018 年度 ヘルス・フォー・ ヒューマニティ レポート

CSR と持続可能性に関する活動進捗状況

本資料は、米国ジョンソン・エンド・ジョンソン社が発表したHealth for Humanity Reportを日本語に翻訳し、皆様のご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。英文資料は下記リンクをご参照ください。

<http://healthforhumanityreport.jnj.com/>

なお、本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する資料が含まれています。

Johnson & Johnson



## アレックス・ゴースキー会長兼 CEO のメッセージ

### 当社のステークホルダーの皆さまへ

2018年にジョンソン・エンド・ジョンソンは大きな節目を迎えました。

75年前、当社はお客様のニーズや健康を第一に考えるという不朽の倫理観を共有する「我が信条 (Our Credo)」を正式に定めました。創業以来、常にお客様を第一に考えることで、当社は外科用包帯メーカーから世界最大規模のヘルスケアカンパニーへと成長を遂げました。

人々の生涯にわたる健康増進を実現するために必要な、科学、人材、テクノロジー、創造力を組み合わせる点で、当社は独自のポジションを築いていると考えています。大規模で多岐にわたるこのような取り組みには大きな責任が伴い、当社が下す一つひとつの判断が世界中に大きな影響をもたらす可能性があります。

2018年度ヘルス・フォー・ヒューマニティレポートは、当社の取り組みについてお伝えするものです。世界の人々の健康増進、従業員への投資、責任あるビジネス慣行、地球規模での環境保全という当社の重点領域を通じて、成果を生み出し、透明性を確保し、説明責任を果たすという高い倫理観が根付いていることをご理解いただけるかと思えます。このような価値観をモットーとすることで、近代史上最大とも言えるヘルスケアのニーズに対応しながら、当社のステークホルダーの皆さまに長期的な価値を提供しています。

リスクはますます高まっています。世界中で今や数十億人規模にまでに増加し続けている中間層は、今までにない手段による、高質で利用しやすい医療サービスを求めています。また、高齢化が進みつつあることから、医療の標準の定義も変わってきています。科学の進歩と技術的破壊により、革新を続ける機会と手段が絶え間なく生み出されています。気候変動が健康に与える影響により、より多くの対策をただちに講じる必要性が増しています。

当社にとって、これらの課題に真正面から向き合うことは、病気の予防から治療に至る健康状態の変化という一連のプロセスを念頭におき、医療に取り組むことを意味します。HIVやエボラ出血熱の予防ワクチンに関して、当社では大きな進歩を遂げています。結核の世界的な撲滅活動にコミットするパートナーとして、「ヘルス・フォー・ヒューマニティ 2020 達成目標」として掲げた、多剤耐性結核治療薬「ベダキリン」のアクセス向上に取り組んでいます。

アクセス拡大に向けたコミットメントの詳細については、ヤンセン社の米国透明性年次レポートの第2号をご覧ください。本レポートでは、患者によるアクセスの確保・拡大を目指しながら、米国において透明性と説明責任を確保した、責任ある薬価設定の慣行に対するコミットメントを果たすための、一連の取り組みについて詳しく説明しています。当社はグローバルレベルでも患者の医薬品アクセスの拡大にコミットしており、医薬品アクセス指標では3位にランクインしました。

医療分野での差し迫った課題を当社だけでは解決できないことも認めており、世界中の医療関連機関と密に連携しています。たとえばサブサハラアフリカでは、重度精神疾患について手ごろな価格のスケラブルかつ質の高い医療ケアモデルを構築するため、さまざまなコラボレーションを推進しています。この協働の精神に根差し、当社は多くの慈善事業への投資も行っています。一例として、医療現場で働く人々に対する支援を行ってきました。本年度は、世界中の医療現場で働く45万人の人々が必要な研修を受けられるようにするため、ヘルス・フォー・オールのアライアンスに参画しました。

これらの功績は、全世界にいる当社の素晴らしい社員なくして達成できません。75年目という節目を迎えるにあたり、当社は「我が信条 (Our Credo)」のもと、尊敬、インクルージョン、帰属意識という多様な企業文化を促進し続けるためのコミットメントを強化します。そして今までと変わらず、最高クラスのヘルスケアプログラムから、個人またプロフェッショナルとしての成長への投資まで、あらゆる面で社員をサポートすることにより、世界で最も健康的な組織を目指し続けます。

常にお客様のニーズを第一に考えるということは、地球環境や天然資源の保全も意味します。当社のコンシューマー事業部門は、プラスチック廃棄物という深刻な環境問題に取り組むため、240の組織と共に「新プラスチック経済グローバル・コミットメント」に参画しました。このイニシアチブにより当社の組織的なコミットメントをさらに広げ、事業運営や供給基盤における環境持続性を向上させます。

常に未来のために投資し、長期的な視点を維持するため、包括的資本主義に向けた堤防プロジェクト (Embankment Project for Inclusive Capitalism)、CECPの戦略的投資家向け長期経営イニシアチブ (Strategic Investor Initiative)、米国ビジネス・ラウンドテーブルといった重要なイニシアチブに参加しています。これらの専門的なパートナーと共に、金融市場において、長期的な視点や、当社のような企業が社会に生み出す価値の測定を推進しています。



オーストラリアを訪れ社員と交流するアレックス・ゴースキー

本ヘルス・フォー・ヒューマニティレポートでは、当社がこれまでのイノベーションを活かし、お客様すべての健康と福祉の向上をどのように実現しているかをお伝えします。当社はヘルスケア業界のリーダーとしてだけでなく、地球市民、また生活やコミュニティに変化をもたらす存在として、ユニークな人材、ノウハウ、倫理観を動力に世界を変えていきます。

依然として多くの課題はありますが、持続可能で、革新的かつ責任ある取り組みを進めるため、積極的に挑戦を続けてまいります。

アレックス・ゴースキー  
会長兼最高経営責任者 (CEO)

## J&J における持続可能性のアプローチ



私たちは、当社のモットーとして、科学と独創性を組み合わせ、人々の生涯にわたる健康促進への取り組みを大きくドライブしていくことを掲げています。この取り組みには、当社製品を使用する患者さんやその他のすべての人々、当社の社員、地域コミュニティ、そして世界中の人々の健康により影響をもたらしたいという願いが込められています。現在、当社は世界的に最も危急の課題となっている、グローバルな公衆衛生上の問題に対する解決策を見出し、社内だけではなく社外のパートナーとも連携し、すべての人々の健康を増進するために力を合わせて取り組みたいと考えています。当社 CSR および持続可能性に対する取り組みは、世界中のすべての人が健全な精神、健康な身体、そして安全な環境を享受できる世界を実現したいという当社のビジョンを強く反映しています。具体的な取り組みとしては以下が含まれます：

- ・ 当社のパフォーマンス向上と、当社ビジネスに関連した環境・社会・経済的課題におけるリーダーシップに関する 5 か年公約を設定し、自らの水準を継続的に向上
- ・ 公約の進捗状況の透明性を測定
- ・ CSR および持続可能性に関する取り組みの全社的なガバナンスを継続的に強化
- ・ 優先トピックの評価を定期的を実施することで、日々変化するビジネス環境において、ステークホルダーに関連し当社のビジネスにも影響を及ぼす課題に優先的に対応
- ・ ステークホルダーと協働し、その見解や期待を理解し対応

当社では、CSR と持続可能性に関するこのような取り組みにおいて、当社の人材、専門知識、グローバルパートナーシップを活用することで最大限の成果を期待できると考えています。

### ヘルス・フォー・ヒューマニティ 2020 達成目標

は、当社の企業目的に基づいており、ステークホルダーから顕著な成果を挙げることを期待されている分野を重視しています。当社は、これらの目標を達成することが当社の長期的な成功に不可欠であり、CSR および持続可能性の取り組みにおける重要な達成度評価指標になると考えています。

当社ではさらに、ヘルス・フォー・ヒューマニティ 2020 達成目標と一連のコミットメントを通じて、当社の事業規模を活かした持続可能な貢献ができる 5 つの主要分野について、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の実現を支援する活動を行っています。



その他の  
リソース

2018 年度ヘルス・フォー・ヒューマニティレポートの完全版で、CSR および持続可能性に関する当社の進捗状況について詳しく知る →

2018 年度ヘルス・フォー・ヒューマニティレポートの要約動画を見る →

「ヘルス・フォー・ヒューマニティ 2020 達成目標」 →

国連 SDGs 業績表 (スコアカード) および持続可能な開発目標のウェブサイトを見る →

## 2018 年における取り組みの概況

### 1年のハイライト

米 FDA により SYMTUZA (ダルナビル、コビスタット、エムトリシタピン、テノホビル・アラフェナミド) が承認される。これは、ダルナビルを基本とした、**世界初かつ唯一の**1日1回投与の HIV-1 治療用シングルタブレットレジメンです。

多発性骨髄腫の**画期的な CAR-T 療法**の先行開発

我が信条 (Our Credo) の導入  
**75 周年**

医薬品アクセスインデックスで **3 位にランクイン**

世界保健機関が MDR-TB 患者の治療薬としてバダキリンの**幅広い使用**を推奨

ジョンソン・エンド・ジョンソン・コンシューマーカンパニーが「**新プラスチック経済グローバル・コミットメント**」に参画

**精神疾患治療薬のアクセス向上**を目指しルワンダで新たなプログラムを展開

**JOHNSON'S Baby** を新たに展開

UNICEF とのパートナーシップを強化し、**1,000 万ドルの支援**

### 実現した成果

#### 患者と消費者

**38,994 人**

MDR-TB 治療に  
アクセスできた患者数

**51,503 人**

HIV 治療にアクセスできた患者数

#### 社員

**16,343 人**

Energy for Performance の研修プログラムを  
受講した社員の数

**44.2%**

部門、国、またはセクターラインを越えて異動した、マネージャー以上の職位の社員の割合\*

#### コミュニティと地球

**104,479 人**

世界 67 国で研修を受けた医療従事者

**31%**

再生可能エネルギーを利用した  
電気使用

#### ステークホルダー

**56 年**

連続増配

**107 億  
7,500 万ドル**

研究開発への投資額

\*マネージャー以上の職位の社員のうち、部門、国またはビジネスセグメントの枠を超えた異動 (昇格、降格または同等職位への配置転換を含む) のあった社員の割合

## すべての人々の健康増進 - 病気のない世界

当社は世界のヘルスケアリーダーとして、世界でも特に深刻な難病の治療法解明に向けた取り組みを先頭に立って進めています。2018年は主要疾患の負荷低減の取り組みをさらに進め、目標達成に向けて順調に推移しており、世界中の成人や子供の健康を推進しています。

### HIV を過去のものに

当社は HIV の蔓延を防ぎ、さらに重要な点として、感染予防ワクチンにより完全に排除するための取り組みを着実に推進してきました。2018年、アフリカ南部の5か国で、歴史的なモザイクベースの HIV 感染予防ワクチンレジメンに関わる Imbokodo 研究に着手しました。本取り組みでは、HIV 感染の拡大を防ぐメカニズムの特定と、複数のウイルス株に対して有効な世界的ワクチンの開発を進めています。HIV 治療へのアクセス向上や啓発のため、いくつかの国でさまざまなプログラムやパートナーシップを推進しています。たとえば、若者への啓発活動を通じて HIV の罹患率を大幅に低下させることを目指し、南アフリカで若者主導のイニシアチブとして「DREAMS, Thina Abantu Abasha」を立ち上げました。

### 結核の撲滅

2012年に当社では、約半世紀ぶりの画期的な新規抗結核薬であるサチュロ(ベダキリン)の承認を受けました。以降、結核高負荷国と幅広く連携して、治療へのアクセス拡大と治療薬の適切な使用を推進し、結核に関する啓発活動を行っています。2018年には、約1,800万人の命を救い、1,200万人への新たな感染を防ぐことを目標として掲げた、10か年計画を発表しました。診断されていない結核の検出率を上げ、ベダキリンへのアクセスを向上し、次世代の結核治療法を発見するための研究開発を推進するため、パートナーと連携しています。

**「私たちは今、HIV ワクチン開発の最盛期を迎えています。現在、2つの HIV ワクチンストラテジーを開発すると同時に、中和抗体を使って試験を行い HIV 感染の予防効果を検証しています。今後4年間で、業界に変革をもたらす、HIV 感染から社会を守る、価値ある医薬品を発表できるかもしれません」**

グレンダ・グレイ教授、  
南アフリカ医療研究評議会 (SAMRC) 会長  
兼 CEO、Imbokodo 研究のプロトコル委員

### 顧みられない熱帯病への取り組み

当社では研究開発、製品の提供やパートナーシップを通じて、顧みられない熱帯病 (NTD) を撲滅・抑制するための研究開発を進めています。さらなる研究推進のため、ヤンセンは世界中の研究団体に対し、分子化合物ライブラリーから8万もの化合物のデータを共有しており、共同研究者と共に結核、マラリア、顧みられない熱帯病、発展途上国に多い病気の治療・予防についての研究に注力しています。さらに年間2億錠を寄付し、新たに土壌伝播寄生虫や回虫を駆除するための、子供にも服用しやすいチュアブル薬「メベンダゾール」を開発するという公約を果たしました。また、デング熱の治療薬開発も進めています。

### メンタルヘルスケアの変革

2018年8月には、ルワンダ保健省と包括的なパートナーシップを結びました。ルワンダにおける質の高いメンタルヘルスケアの強化とアクセスの拡大を目指すもので、研究を支援し、統合失調症治療薬の低価格と高いアベイラビリティを実現し、より正確に患者を診断・治療するためのメンタルヘルスケアの強化を図ります。この他にもメンタルヘルスに関わるさまざまな取り組みを推進しています。

### 世界での医療保障とパンデミック対策

当社は2018年に Janssen Vaccines & Prevention が英国政府、また学術機関や業界のさまざまなパートナーと新たに提携し、英国初のワクチン製造・イノベーションセンターを立ち上げることを発表しました。また、インフルエンザ、エボラ出血熱、ジカ熱、マラリアといった感染症の予防・治療薬の研究開発も継続しています。



### 薬剤耐性対策

当社では、薬剤耐性 (AMR) に関するコミットメントを果たすため、さまざまな取り組みを進めています。現在、世界114か国で22品目の抗菌薬 (抗ウイルス薬を含む) を提供しており、そのうち7品目は WHO 必須医薬品モデルリストに記載されています。当社は結核治療薬研究の長い歴史があり、多剤耐性結核単体でも AMR 関連の死者の3分の1を占めていることから、多剤耐性結核 (MDR-TB) を重点領域としています。

## すべての人々の健康増進 – アクセス、イノベーション、公衆衛生

「**ジョンソン・エンド・ジョンソンはここ4年間、医薬品アクセスインデックスで常にトップに立っています。結核などの疾患領域で価値ある治療薬を生み出し、最近では低所得国と中所得国のメンタルヘルス対策にも取り組んでいます。同社のグローバルな公衆衛生の戦略は、業界におけるアクセスプランニングのモデルとなっており、さまざまな疾患について成果を実現し、常に挑戦を続けています。極めて厳しい状況にある国のニーズにも対応できる、強力な研究開発パイプラインとグローバルネットワークを有する企業として、ジョンソン・エンド・ジョンソンにはさらなる取り組みを期待しています**」

ジェイ・アイヤー氏、  
医薬品アクセス財団エグゼクティブディレクター

### 医療へのアクセスの強化

当社は世界最大規模のヘルスケアカンパニーとして、あらゆる市場における当社の画期的な治療薬、ワクチン、機器や診断へのアクセス拡大にコミットしています。アクセスを重視した価格戦略を維持しており、毎年、**ヤンセン米国透明性レポート**を公表しています。このレポートは、投資内容、医薬品価格の設定プロセス、米国でヤンセンの治療薬を必要としている患者へのアクセス拡大プログラムをまとめたものです。また、治療計画の遵守率を高めるために患者が情報やソリューションにアクセスできるよう支援するとともに、患者のニーズに応える治療薬の共同開発に力を入れています。

### 健康増進に寄与するイノベーション

社内では研究開発を重点的に推進し、対外的には世界中のさまざまな医療ニーズに対応するローカルソリューションについての戦略的パートナーシップを結ぶことで、健康増進に寄与するイノベーションを推し進めています。当社では、世界トップレベルの科学者や医療・テクノロジー分野の専門家を登用して製品パイプラインの拡充を図り、4つのグローバルイノベーションセンターに投資し、JLABS（オープンイノベーションのためのヘルスサイエンス・インキュベーターのネットワーク）を通じてイノベーションを加速し、ライフサイエンス業界においてCVCを運用する形でイノベーションを推進しています。

イノベーションは製品にとどまらず、デジタルツール、臨床試験における患者のサポート、患者、介護者、医療プロバイダに役立つコネクテッドヘルステクノロジーのイノベーションなど、さまざまな領域にわたっています。

### 医療システムの強化

当社では世界的なユニバーサル・ヘルス・カバレッジを支持しており、2018年にはこの実現を目指してさまざまな取り組みを行いました。当社では幅広いパートナーシップにより、若手人材へのサイエンス・介護・助産術の教育を支援しています。その多くは、Johnson & Johnson Foundationを通じて資金を調達しています。2018年には、シンガポールにおいて専用フォーラムを通じて継続中の議論を支援するなど、価値に基づいたケアアプローチの導入を目指す取り組みを進めました。

### 公衆衛生への貢献

我が信条 (Our Credo) では「我々の第三の責任は、我々が生活し、働いている地域社会、さらには全世界の共同社会に対するものである」と定めています。当社は世界中のコミュニティ活動に積極的に参加することで、この義務を果たしています。世界で最も脆弱な人々の健康上のニーズに、コミュニティとしてより効果的に対応できるよう、医療現場で働く人々を支援しています。当社の慈善活動、製品、イノベーションや事業活動はどれも、世界中の人々にとってより良い世界と環境を実現するためのものです。

当社のプログラム、プラットフォーム、ソリューションは、コミュニティのニーズに対応すると同時に、ジョンソン・エンド・ジョンソン独自のナレッジやスキルが活かされる全社的な優先・重点事項に沿って、グローバル・リーダーシップとリージョンおよび国レベルの社員によって開発されています。

パートナーシップ、財務支援、大規模な人材基盤の活性化、優先度の高い健康問題の支援を通じて、コミュニティ利益を追求するためにパートナーを動員しています。相互信頼と共通の倫理観に基づいて協調の精神をもってコミュニティパートナーと協働しています。

当社の社員は、コミュニティのボランティア活動やその他の活動プログラムにも積極的に参加しています。

また、災害発生時には、海外支援団体や各国の系列会社に消費財、医薬品、医療用品を提供しています。

### JLABS を通じたイノベーションの促進

- JLABS が6年以上の間にサポートした企業は450社を超え、2018年は2017年に比べて44%増加
- 2018年の調達額は116億ドル(2017年に比べて23%増加)
- 現在12社が上場
- JLABS企業の88%が現在も業務継続または買収されている

## 人材

「**当社の企業文化はスピリチュアル、メンタル、身体的、経済的に社員を支え続けることを掲げた「我が信条 (Our Credo)」の理念に根差しています。この理念に従い、何千人もの社員がそれぞれ異なるキャリアを歩み、人々の生涯にわたる健康増進という企業目標を実現できるよう支援しています**」

ピーター・M・ファソロ、  
エグゼクティブ・バイスプレジデント兼チーフ・ヒューマンリソース・オフィサー、  
ジョンソン・エンド・ジョンソン

当社の成功は、人々の生涯にわたる健康増進というミッションに熱心に取り組む何千人もの社員のおかげです。皆、自分のスキルを活かしてキャリアを積むために当社に入社し、世界中のコミュニティの人々のより健康的な生活と充実した福祉を実現するために働いています。2018年、当社では社員とのつながりを強化し、能力を構築し、意欲を高めるため、また公私にわたって成長をサポートするためのさまざまなプログラムを展開しました。さらに、社員の健康と福祉の向上や、安全で安心できる職場づくりにも取り組みました。

### 優秀な人材の獲得

優秀で多様性あふれる人材を採用、維持するため、2018年にはグローバルレベルで **Hire.jnj.com** プラットフォームを展開しました。このデータに基づく革新的なアナリティクスツールにより、迅速で、透明性のある、俊敏なプロセスで採用を行うことができます。

### ユニークなキャリア開発の機会を提供

当社の人材育成プログラムには、オンザジョブトレーニング、オンラインコース、ワークショップ、その他の体験学習が含まれています。2018年には、社員の健全なキャリア設計をサポートするため、グローバル自己啓発プラットフォーム「MyDevelopment」を立ち上げました。また、オンデマンドのデジタルプラットフォーム「Leadership Navigator」を通じて、世界中のピープルリーダーのパフォーマンスとスキルレベルの向上に役立つ学習リソースを新たに展開しました。

### エンゲージメント、強化、インスピレーション

2018年、当社は「我が信条 (Our Credo)」の制定から75周年を迎え、日々の行動を通じて「我が信条」の価値観を実行する機会を与える活動を展開しました。Credo Day を祝う初のイベントには世界中の3万人以上の社員が参加し、各地で「我が信条」の価値観を再確認しました。

TEDxJNJ イベントも引き続き開催され、社員の公私にわたる体験談からインスピレーションを得る機会となりました。2018年には13か国で20ものTEDxJNJ イベントが開催され、これまでの開催回数は合計19か国で76回になります。

当社では引き続き、社員のコミュニティ活動への参加を促しています。**グローバル・プロボノ** プログラムの参加者は21名に増え、それぞれのスキルを活かして、ラテンアメリカの7つのNGOの目標達成を支援しています。

### ダイバーシティとインクルージョンの推進

当社のDNAの一部ともいえる、ダイバーシティとインクルージョンの推進というコミットメントを果たすため、内外に当社のインクルーシブなコミュニティを紹介するキャンペーンを実施しました。詳細については [こちら](#) をご覧ください。

### 安全で安心できる職場づくり

全社初の安全月間を設定し、社内の枠を超えて、全てのオフィス、全ての現場、ラボあるいは工場で働くスタッフ全体で、安全対策に関する意識を高め、学び、コラボレーションを推進しました。



### ヘルスとウェルネスの向上

健康的な選択とより健康的な生活をサポートする総合プログラム「HealthForce 2020」により、全社員にENERGY FOR PERFORMANCE トレーニングの受講を推進しています。また、世界72か国、16言語に対応したHEALTH & ME デジタルヘルスアプリを提供し、ほぼ全ての社員が利用できるようになっています。

2018年には、全社員を対象に、フィットネスクラブの会費やその他のエクササイズのコストを援助する、新たなエクササイズプログラムサービスを提供し始めました。

230の機関と提携し、10万4,479人の医療従事者のトレーニング、スキル育成、リーダーシップ育成を実施

6,327人の助産師 37,352人の看護師 世界 67か国

## 責任あるビジネス慣行

「当社のフレグランスは敏感肌用に作られており、刺激が強い材料や一般的な香料アレルギーは使用していません。ベビー用フレグランスは第三者グループと安全衛生の専門家による承認を受けており、この度初めて、全ての香料成分が当社のウェブサイトに公開されました」

ホーム・スウェイ、  
プロダクト・シュワードシップ・ディレクター、  
ジョンソン・エンド・ジョンソン・コンシューマーカンパニー

責任あるビジネス慣行は、当社の成功に欠くことのできない基盤であるだけでなく、より広汎な医療制度、そして私たちが生活し、働いているコミュニティを守る上での必須事項です。

### 製品の品質、安全性、および信頼性

当社は全社共通の **Quality and Compliance Core Objective (品質と遵守に関する主な目標)** に加えて、トレーニング、モニタリング、リスク評価や監査を実施することで、最高の品質を追求する企業文化を維持しています。2018 年には、品質プログラムの維持・強化を図りました。また、十分な情報を基に治療に関する意思決定が行えるよう、ビッグデータやアナリティクスを活用し、製品安全性プロセスを強化しました。さらに、不正取引による影響からお客様や患者さんを守るため、強力な偽造防止・ブランド保護戦略に投資しています。

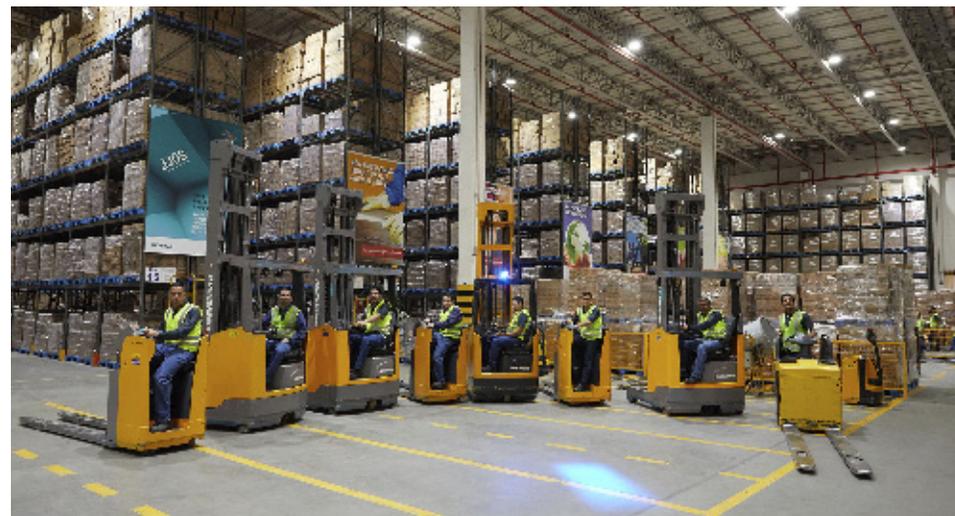
コンシューマー製品に関する透明性向上を図り、当社の洗顔料、ローション、ヘアケア製品を全てリニューアルし、ポートフォリオの原材料の数を 50% 以上削減し、これらの原材料を全て開示しています。

### 企業倫理と透明性

当社の業務行動規範とヘルスケア関連規則に対するコンプライアンス・ポリシーには、全従業員に要求される業務行動の基準が記載されています。当社は収賄に強く反対しており、当社が定めるポリシーは反収賄・汚職に関する法規制に沿ったものとなっています。当社では匿名通報の安全な手段として **Crede Hotline** を設置しており、違反の疑いがある行為を通報する匿名の注意喚起システムとして機能しています。2018 年、当社では内部での厳正な精査のう え、**人権声明** を改定しました。

### 供給拠点の選定

当社の **サプライヤの責任基準** では、全てのサプライヤに対する要件を定めています。評価や現場視察による、リスクベースのアプローチを採用し、これらの基準の遵守状況を監視するプロセスを常に強化しています。2018 年には、当社の持続可能な調達プログラムの上位取引先から 61% のサプライヤを選定するという目標を達成しました。また、サプライヤの多様化も進めており、20 개국以上で、女性起業家を支援するグローバルネットワークである **WeConnect International** と提携しています。



## 環境衛生



### 省エネ・炭素効率性

当社では主に3つの領域（エネルギー需要の低減・省エネ化、低炭素化・再生可能エネルギーへの移行、バリューチェーンにおける排出量削減の推進）で、省エネ・炭素効率性向上を図っています。科学的な調査を基にスコープ1およびスコープ2の温室効果ガスの絶対排出量の削減目標を定め、2050年にかけて大幅な削減にコミットします。2050年までに再生可能エネルギーで全ての設備を賄うという目標達成に向け、投資とオペレーション整備を進めており、ビルの新設・改修時には環境に優しいビルの認証を取得しています。2018年には中国とコロンビアにおいて、LEEDでプラチナ認証とゴールド認証を取得しました。

### 廃棄物・水管理

当社では、水を大切に使い、廃棄物の発生を最小限に抑えると同時に廃棄物の持続可能な利用を促進することで、地球への影響を最小限に抑えることを目指しています。水ストレスについては、自社独自のリスク評価モデルを使ってリスクを測定しています。2018年には、廃棄物を体系的に回避し、廃棄物の埋め立て処理を減らすため、各拠点でさまざまな取り組みを推進しました。

### 製品の持続可能性

2018年、ジョンソン・エンド・ジョンソン・コンシューマーカンパニーは「**新プラスチック経済グローバル・コミットメント**」に参画し、デザインの見直し、パートナーシップや投資を通じてパッケージング材料に占めるリサイクル素材の割合を増やし、使い捨てパッケージを減らし、リ

「**ジョンソン・エンド・ジョンソン・コンシューマーカンパニーでは、持続可能な開発目標を達成するという決定のもと、プラスチック廃棄物問題の深刻さと画期的なソリューションの開発に向けた責任も認識しています**」

ポレット・フランク  
環境衛生・安全性・サステナビリティ担当  
ワールドワイド・バイスプレジデント、  
ジョンソン・エンド・ジョンソン

このラベルを通じて製品ごとのリサイクル方法を啓発することで、リサイクルを推進していきます。

ユース・リサイクル・コンポスト化可能なプラスチックパッケージに切り替えることにコミットしています。

EARTHWARDSは、より持続可能な製品の開発を推進するための当社独自のアプローチです。ライフサイクル上で潜在的な影響力が最も大きい領域に注力することで、負の影響を最大限低減する取り組みを優先します。7つの重要領域のうち少なくとも3つについて大幅な改善が認められた場合、外部の専門家から成る委員会がEARTHWARDS認定にふさわしいか評価します。

ジョンソン・エンド・ジョンソン・コンシューマーカンパニーでは、ベビーローション、ベビーシャンプー、ベビーウォッシュを含む多くの商品にHow2Recycleラベルを推進しています。

本資料は、米国ジョンソン・エンド・ジョンソン社が発表した Health for Humanity Report Summary を日本語に翻訳し、皆さまのご参考に提供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、<http://healthforhumanityreport.jnj.com> をご参照下さい。なお、本文中には日本未承認薬、未承認適用症に関する資料が含まれています。



## 2018 年度ヘルス・フォー・ヒューマニティレポート

CSR と持続可能性に関する活動進捗状況

### お問い合わせ

WW-Corporate-Governance@jnj.com  
One Johnson & Johnson Plaza  
New Brunswick, New Jersey 08933  
[healthforhumanityreport.jnj.com](http://healthforhumanityreport.jnj.com)  
[jnj.com](http://jnj.com)

表紙: サブサハラ・アフリカでは、毎日 1,000 人の思春期の女の子や若い女性たちが HIV に感染しています。これにより、彼女たちの人生は深刻な影響を受け、自分たちの可能性を発揮する機会が奪われています。そこで当社では、PEPFAR と UNFPA の協力のもと、HIV の感染率が最も高い地域の一部で DREAMS Thina Abantu Abasha (ズールー語で「私たち若者」) を立ち上げました。これは若者が中心となって進めるピア・ツー・ピア・プログラムで、15 歳から 24 歳の女性の HIV の感染率を下げることを目指しています。当プログラムは、当社が長期にわたって全社的に取り組んでいる、HIV の予防というコミットメントの 1 つです。詳細については [www.jnj.com/hiv](http://www.jnj.com/hiv) をご覧ください。撮影: ジョナサン・バートン